

ごあいさつ

代表取締役社長

藤塚 勝正



現在の世界共通の深刻な問題、それが環境問題であります。その環境問題を真剣に取り組み、循環型社会へ転換を図っていくことは、人類共通の課題となっています。

沖電気の環境理念は、1996年に決めました「情報社会の発展に寄与する商品を提供していく企業活動のあらゆる面において、地球環境および地域環境に関する保全活動を積極的に展開します」であります。この理念に基づき、研究・開発から廃棄・リサイクルまでの全事業活動領域におきまして、環境への取り組みを展開しております。

さて、当社では、1970年から公害防止活動を全社で取り組んでまいりました。地球環境問題に対する活動は、1993年に第一次活動の「環境保護活動計画」を策定し、1996年にはこれを見直し、第二次活動として「96環境保護活動計画」を策定し、沖電気グループ各社とも協調し活動してまいりました。

1999年には、さらに社会的責任を全うすべく、環境問題への取り組みを企業経営の重要テーマとして位置付けた「OKIエコ・プラン21」を策定し、新たなる環境保護活動を積極的に展開しております。本プランの特徴は、従来から取り組んでまいりました工場地区における環境負荷低減化に加えまして、環境配慮型製品の開発強化、および積極的な情報公開をおこなうことを、沖電気グループ一体となって展開するものであります。

本プランに基づき実施いたしました1999年度の活動結果は、リサイクルセンタを新設し廃製品リサイクル率の目標を前倒しで達成できましたことを始めに、活動項目の大半において年度目標を上回ることができました。また、ダイオキシン問題のリスク管理としてゴミ焼却炉の全廃も完了いたしました。

本報告書は、これら1999年度の活動内容を詳細に紹介しております。また、新たに導入いたしました環境会計につきましても掲載いたしました。

今後も沖電気グループ全体で、さらに環境活動を強化していく所存でございます。

この報告書が、沖電気グループの環境問題への取り組みについてご理解を賜る上で、皆様方のお役に立てれば幸いと存じます。